

学校教育目標	「Shine かがやこう! Rainbow にじいろのえがお Nexus つながる白根」 ○自ら学び、様々な表現活動を通して考えを深めようとする力を育てます。(知) ○自分のよさを発揮し、他の違いを認め合いながらともに活動できる心を育てます。(徳) ○自分や他の生命と体を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) ○自分を見つめ、仲間や地域社会とのつながりを大切にしながら、ともに生きようとする心を育てます。(公・開)					
	創立 142 周年 児童生徒数: 645 人	学校長 海老澤孝代 主な関係校: 旭北中学校、今宿中学校、鶴ヶ峯中学校	副校長 片岡ひかり	2 学期制	一般学級: 18	個別支援学級: 6

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	旭北中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	旭北中学校 上白根小学校 白根小学校	高い自尊感情をもって、自他を大切にし、 目標に向かって努力できる子ども 改めてブロックの子どもたちの、特色(強みと弱み)を共有し、身に付けてほしい資質・ 能力を明らかにする。 特に他者との適切な関わり方や自己表現、目標の実現に向けて努力し成し遂げる 力については、成長段階にあわせた資質・能力を整理し、取り組む内容を各校の全体 計画に位置付ける。

中期取組目標	○教職員、保護者、地域が三位一体となり、子ども一人一人が自分のよさを発揮し、互いに認め合える学校を目指します。 ・1年目は、一人一人の子どもが自分自身を見つめ、自分のよさを安心して出せる場づくりに努めます。 ・2年目は、お互いが一人一人のよさを認め合い、自分の考えを伝え合える力を育てます。 ・3年目は、伝え合うことで自分の考えを深め、何事にも自分から積極的に関わろうとしていく子の育成に努めます。 ・3年間を通して、教職員、保護者、地域が協力し、子ども一人一人が自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 研究部	①子どもたちが考えたいくなる授業づくりをし、自ら課題を発見し解決しようとする力を育成する。②ICTを活用したり、ペア学習を積み重ねたりして、かかわり合いながら学ぶことを通して、主体的に学習に取り組み、学ぶ楽しさや達成感を味わえるようにする。
徳 豊かな心 担当 研究部	①ペア学年やたてわりでの活動を充実させ、上学年を目標としたり、下学年に対して自分が役に立っていると実感できたりするような場面を意図的に準備する。②様々な活動において、自分の考えをしっかりと伝えたり、友達の考えを寛容に受け止めたりすることで、考えを広げ、互いに認め合えるようにする。
体 健やかな体 担当 研究部	①年間を通して短縄に取り組み、めあてに向かって継続的に活動を行い、体力の向上を図る。②食育を通して、作物の栽培や食文化、栄養に興味をもち、食生活を大切に考えることができるようにする。
公開 自分づくり教育 担当 総務部	①各教科や特別活動、学校行事等のふり返りカードで自分自身の良さが認識できるように設問を工夫する。②地域コーディネーターと連携し、地域の人材と関わる学習を進めることで地域に貢献しようとする心を育てる。③様々な発表の場面では自分の言葉で表現することを大切にする。
いじめへの対応 担当 指導部	①いじめの未然防止につながるよう、どの児童も安全・安心な学校生活を送るために、学校のきまりや学習スタンダードを共有する。②早期発見・早期対応ができるよう、児童支援専任・指導部を中心として定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、教職員の情報共有を行う。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、授業研や研修などの活動を継続して行う。②一部の職員に仕事が偏らないよう校務分掌を割り当て、それぞれが各部署の中心となり、責任をもって仕事を行えるようにする。③ICTを活用して、会議等の効率化や情報の共有化を図る。
地域学校協働活動 担当 教務部・総務部	①開かれた学校を目指し、学校便りやHPを使って情報提供に努める。②保護者ボランティアを募り、各教科のサポートや登下校の見守りなどをお願いし、学校運営に関わっていただく。③学校運営協議会やゆりのき会の会員と学校教育目標を共有し、協働して活動できるようにする。
児童理解 担当 指導部	①様々な教育活動を通して、児童一人一人が自分のよさを発揮し、互いのよさを認め合える関係づくりを図る。②定期的なYPアセスメント・支援検討会等を通し、児童の見取りや具体的な支援について教職員の情報共有に努める。③SCやSSWとの情報共有や特別支援研修等、他機関との連携を行う。
担当	
担当	